

[第4回.竹島問題を考える講座]

－韓国竹島研究の現状とその限界－

2016.1.24(竹島資料室)

拓殖大学下條正男

1. 韓国の竹島問題関連図書

- (1) 李漢基著『韓国の領土』(1969年刊)
- (2) 慎鏞廈著『独島の民族領土史研究』(1996年刊)
- (3) 李鎮明著『独島、地理上の再発見』(1998年刊)

【慎鏞廈教授の問題点】

2. 「見える」「見えない」論争

- (1) 地理的与件から文献解釈
 - ① 『世宗実録』「地理志」
 - ② 『新增東国輿地勝覧』(1530年刊)
- (2) 等閑にされた文献批判
 - ① 『三国史記』と『三国遺事』→捏造された独島は鬱陵島の属島説(可視距離内)
 - ② 『東国文献備考』「輿地考」(1770年)の改竄
「輿地志に云う、鬱陵于山皆于山国の地。于山則ち倭の所謂松島なり」
『東国輿地志』改竄前→「一説、于山鬱陵本一島」
 - ③ 『萬機要覧』(「軍政編」四、「関防」)(1808年)→『東国文献備考』の孫引き

【李鎮明教授の問題点】

3. 二つの鬱陵島と「朝鮮ノ持也」→竹島は含まれていない

- (1) 林子平の『三国通覧図説』所収「三国接壤図」の成立
- (2) 『大三国之図』の「朝鮮ノ持也」→牽強付会
 - ① 「朝鮮国之図」
 - ② 『新增東国輿地勝覧』所収「八道総図」
 - ③ 長久保赤水『日本輿地路程全図』
 - ④ 朴錫昌『鬱陵島図形』(1711年)

4. 李鎮明著『独島、地理上の再発見』の問題点

- (1) シーボルト『日本全図』(1840年)
 - ① 1859年、英国海図、James wildの『日本列島』部分
 - ② 1863年、英国海軍『日本-日本,九州,四国及び韓国一部』部分
 - ③ 1876年、英国海軍水路局海図『日本-日本,九州,四国及び韓国沿岸一部』部分